

話せないだけで、心はこんなに豊か！

認知症の母が書いた家族への思い、トミスケの「詩」

きかせたや 見せたや 我が家の風景を

ミルクあめ 家族の心に 涙する

家族づれ 夫も喜び りんごがり

せんたくは バーの仕事に ありぬれど
つつがなき おつとめを

おきたれば 大きな食パン すわりけり
やさしき母ちゃん ありがとう 御免ね

あたたかき こころに ほとけ かんしゃして……
ほんとうに ありがとう

やさしいやさしい 家族のみなさんへ
たよりないばあですが

くれぐれもよろしくお願いします

たのしさや 我が家によめの 笑い声

よき嫁や 息子までも よくなりぬ



やさしい母ちゃん いなくても

おいしい夕食 ありがとう ごちそうさま

おきたれど 何をやつていいやら手につかず
又 フトンえもぐりこみました 御免なさい

正ちゃん つとめですか

もう少し 休んだら がんばります

ぢいさんやぢいさんや

遠いお空のぢいさんや

我が家の風景見えるかな

見えるとも見えるとも

お前は一寸ドジダケド

とうちゃん かあちゃんやさしくて

それをまねてか孫までも

それをまねてか やさしくて

おいしいお料理を ほんとうにありがとう…… なみだ

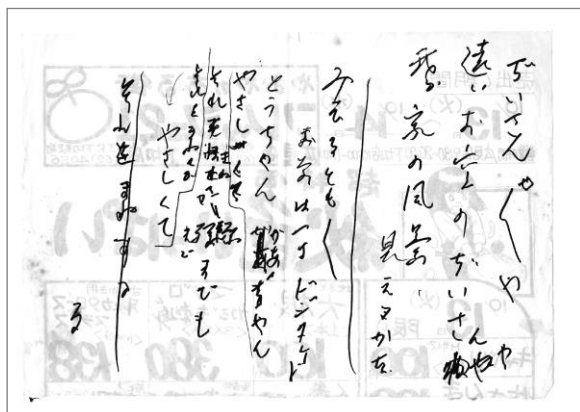
天国のぢいさんも とても喜んで居ります

ありがたいやら、うれしいやらで 胸が一杯です

私もやさしい皆様にさへえられて

今年もがんばりますから よろしくおねがい致します

※夫の他界直後の三ヶ月間、新聞広告の裏などに書き残されたもので、言葉では言えない家族への感謝の思いが伝わる。何も分からないと思っているのは私達だけ……。



YouTube「トミスケの詩」

介護がラクになる会 <https://happykaigo.jp>

